

## 第4回 高砂市庁舎整備検討委員会 会議録

- 1 開催日時 平成27年8月24日（月）午後6時55分～午後8時45分
- 2 場 所 高砂市役所南庁舎2階会議室2
- 3 出席者 （委 員）八木委員長、濱野副委員長、都倉委員、宮本委員、  
増田委員、寺延委員、馬場委員、吉田委員  
（事 務 局）企画総務部長、企画総務部総務室長、企画総務部総務室総  
務課長、まちづくり部まちづくり推進室長、まちづくり部  
まちづくり推進室建築指導課長 他4名  
（資料説明）株式会社昭和設計 3名
- 4 傍 聴 者 0名
- 5 次 第
  - (1) 開会
  - (2) 委員長挨拶
  - (3) 議題
    - ① 高砂市庁舎整備に関する提言書の検証結果について
    - ② その他
  - (4) 閉会
- 6 配布資料
  - 資料1 高砂市庁舎整備に関する提言書 検証結果報告書
  - 資料2 高砂市庁舎整備計画基本構想策定業務スケジュール
  - 資料3 高砂市庁舎整備に関する提言書
  - 資料4 高砂市庁舎整備検討委員会委員名簿

7 会議録

事務局	<p><b>1 開会（午後6時55分）</b>  <b>〔委員交代報告〕</b></p> <p><b>〔新委員あいさつ〕</b></p> <p><b>〔事務局・同席者紹介〕</b></p>
委員長	<p><b>2 委員長あいさつ</b></p> <p>昨年度に続きまして委員長を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。皆様方からの貴重なご意見を頂いて、市庁舎の将来について市民目線でいい方向性がさらに煮詰まっていきますことを願っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、議事の方に入らせていただきます。議題(1)高砂市庁舎整備に関する提言書の検証結果についてということになります。</p> <p>昨年皆さんとともに資料3の提言書を作成させていただき、その後皆さんのお手元にあります検証報告書というものに繋がってきております。こちらの方を事務局からご報告をお願いしたいと思っております。</p>
事務局	<p><b>3 議題</b></p> <p><b>(1) 高砂市庁舎整備に関する提言書の検証結果について</b>  <b>事務局より説明</b></p> <p>まず、議題(1)についてご説明を申し上げます。庁舎整備に関する提言書の検証結果についてでございます。この検証につきましては、昨年度この委員会で、庁舎の整備または庁舎建設の是非といった新庁舎の構想について、ご協力いただき、庁舎整備に関する提言をいただいております。</p> <p>これが資料3でございます。この内容につきまして、専門的、技術的な検証、具体的な金額を算定するという事で、業者の方に委託をして検証を行いました。この検証内容についてまず報告させていただきます。</p> <p>報告については先程紹介しました、この業務を委託しております昭和設計株式会社から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p><b>昭和設計株式会社より「資料1 高砂市庁舎整備に関する提言書検証報告書」説明</b></p>
委員長	<p>ご説明ありがとうございました。説明が終わりましたので、委員の皆様から</p>

	<p>不明な点、あるいは内容についてのご意見を頂きたいと思います。少し専門的な説明も多いですから、言葉とか内容でわかりづらいことも有るかと思いますが。</p>
A委員	<p>まず、お聞きしたいのは改修を行う時に2、3階建ての4,000㎡の仮設については、どの場所で考えておられるのでしょうか。場所設定までされているのでしょうか。</p>
事務局	<p>それについては、現敷地又は市営住宅跡地が近辺にありますので、そこを利用した形で仮設庁舎を建設するとしています。</p>
A委員	<p>ということは、南庁舎や西庁舎の市民サービスの一番中心となるところが一時期に耐震補強のために仮設で4,000㎡のところへ全部移動するのですか。部分的に西庁舎の教育委員会みたいなところは残るんですが、本庁舎の機能が4,000㎡動くということですね。</p> <p>それともう一つ、私の方から提言させていた総合運動公園内の一部に新庁舎を建てるということについて、この概算費用の中では土地購入ということが出てきていますが、私の考えの中では本庁舎が都市公園の法律上、隣接地域に代替地を設けなさいということがあくまでもルール上限定されているのか。本庁舎が運動公園内の一部に行ったときに、その一部の機能を陸上競技場じゃなくてもいいんですが多目的のスペースとしてそれを現庁舎敷地で多目的の目的として、土地は離れてしまうことは法律上可能なんですか。私のほうで少し色々調べたんですがわからないんです。</p>
事務局	<p>総合運動公園については、運動公園ということで位置づけられておりますので、基本的には運動公園の施設を建てないといけません。それで、庁舎が移転するに当たっては、庁舎が運動公園の施設ではないので、都市計画の変更をしなければなりません。もともと運動公園として整備しておりますので、そこに隣接する形で土地を確保していくというのが流れかと考えています。それに基づいて近隣の用地取得が今回必要となりますので、そのぶんを計上しております。</p>
A委員	<p>交換というのは無理なんですか。</p>
事務局	<p>ご質問の件ですが、ご存じのとおり「公園」の中にはこういう「運動公園」や「街区公園」、「近隣公園」など、いろんな公園の種別がございます。「運動公園」として指定しています当該高砂市の総合運動公園ということになっています。ですからそこで例えば10,000㎡を市役所用地として使うな</p>

	<p>らば、その10,000㎡と同等の運動公園としての用地が必要になります。県の方にも確認しておりますが、取った分を引っ付けてくるというのが望ましいということで、それを引っ付けて代替えの場所にしますと、なかなか許可が下りない。</p> <p>ですから、近隣公園を一つ廃止して市役所で近隣公園を作る場合は、別に敷地がそこになくても問題ないですが、運動公園という位置付けになりますと、なかなか代替えは難しいというポイントがあります。</p> <p>ですので、例えば米田の島の地区に隣接する今ご指摘にありました陸上競技場とか多目的広場同等の面積取得していく必要があります。それに係る金額を用地取得費として計上させていただいております。</p>
A 委員	<p>それは仮に本庁舎の空いたスペースを、運動公園とは目的が変わってしまうかもしれないけれど、防災などの機能を持たせたような多目的グラウンドという活用の目的が本庁舎の跡地に機能するのであれば難しいんですかね。</p>
事務局	<p>最初に説明しましたように、都市公園を構成する施設の中に、庁舎というのが入ってこないです。</p>
A 委員	<p>なるほど。</p>
事務局	<p>例えばその位置に温水プール場という風な運動公園の中に設けてもいい建物を建てる場合でしたら、それにしても2、3年という時間はかかるんですが、時間をかけまして、県の手続きを踏み、変更することは可能です。</p> <p>荒井町千鳥に空地ができるから運動公園として指定して、減る分を足してこれを運動公園に指定することができるかというのがありますが、それにしたら面積が小さい。運動公園の持つ規模からしたら少なくなりますので、非常に困難です。法律とか規則というのは人間が作ったものですから、100%無理かと言ったら100とは言えませんが、かなり厳しいものとなります。</p> <p>それに至る結果を出して、OKが出るまでには相当な期間がかかります。この用地取得は例えば明姫幹線沿いで用地を取得するよりも、都市計画の手続きの方がひよっとしたら長い期間必要になるでしょう。</p>
B 委員	<p>この移転の建替えですね、場所が例えば明姫幹線沿いというのと、9年1ヶ月かかる結果が出ているのですが、今の本庁舎は実際に耐震補強せずずっと来ているわけで、世間では官庁工事は早く耐震補強をしないとイケないということは県の方でも言われていますが、「うちは建替えるからしない」という風になっていると思いますが、実際にすぐしなければいけないものなのか、まだ2年や3年は余裕があるのかということはどうですか。というのは、</p>

	<p>移転の場合に用地買収で時間がかかるということですが、これを見ると、現地建替えの場合に仮設はいらないと、最初からこういう話になっていると思いますが、要らないのであれば、用地を買収している時でも別に建替えをしなくても、今の現実でいけるということで、よそにする場合になんで仮設がいるのかという一つの疑問点があるのですが。今の本庁舎を耐震にすることは、どのぐらい余裕があってぎりぎり待てるのかということはおわかりですか。</p>
事務局	<p>今のご質問、非常に答えるには難しい範囲が含まれております。明日震度6強の地震が来るかもしれません。</p>
B委員	<p>実際になっていませんよね。</p>
事務局	<p>例えば5年かかるから耐震補強がいります、4年でかかるから耐震補強はいりませんという判断は市としても苦慮するところではありますが、来庁される市民の方の安全を守るのが第一ということをお考えますと、今回挙げております現地建替えの案においても早期に市営住宅跡地に仮設庁舎を建ててそちらに移転する、まず市民と職員の安全性を確保する。同じ考え方ですね。別の所に建てますという考え方に基づいてするという方法もあります。そういう仮設庁舎に掛る経費が6億円です。6億円掛っても安全性を確保するという考え方に結論付けて進める可能性はあります。</p>
B委員	<p>それであれば現地建替えの場合、仮設庁舎がいらないということであれば。</p>
事務局	<p>いらないとは言っていないです。</p>
B委員	<p>でも載っていませんよね。</p>
事務局	<p>検証報告書についてはそうです。</p>
B委員	<p>ということは、今の庁舎で賄うということで、去年からの話がきているわけです。それであれば、本庁舎を建替えている間は今の建物でなんとかやっていくと。危険性があるのならば、その移転建替えをする場合であっても本庁舎を使わなくても今の分で補えるということは、この文言で言ったら可能ですよね。危ない建物であるからといって、終わったら潰してしまうような別に補強してまで大きなお金をかけなくても、危ないのであればそれを使わずに放っておくということも考えられますよね。使うから補強しなくてはいけ</p>

	ないということになりますね。
事務局	そうですね。
B 委員	ですから、本庁舎建替えをする時に、仮設庁舎が必要になりますという話があったら考え方は違うんですが、この時は仮設庁舎が要らないということを言い切られましたので、今回仮設庁舎のお金が出ていないので。それであれば、よそで建替えをする場合でも別に本庁舎は使わなくても良いと、今ある建物の使える建物でなんとかその間乗り切っていくという考えも取れますよね。危ないから移動するのだと。危なかったら使わなくてもいいんだと。
事務局	まさにおっしゃるように、話は戻りますけれども4年であったら安全、5年だったら安全でないという確証はどこにもありません。
B 委員	だから、明日にも危ないのであれば、もう本体を使わないということもあり得るのでしょうか。
事務局	そういう考え方でいくのであれば、現地建替え案に対して、仮設庁舎をほぼ6億円という経費が余計に掛るということになりますし、逆に言いますと、移転建替えで今まで辛抱しているのだからこれからも辛抱できるのではないかと、5年も6年も10年も変わらないのではないかとという考えにまとまりましたら、移転建替えに関しまして、経費の中から6億円を引いた金額ということになります。ただ、その辺りの判断は、B 委員を含めた皆さんのご意見をお伺いして、後で今後のスケジュールとして説明いたしますが、市民に意見を聴取する機会を近々設ける予定としております。10月から11月には。市民の皆さんに意見を聞くということを経て、最終的に市の方で判断していくというスケジュールになります。
	もちろん、いま B 委員が仰った内容は非常にごもつともで、明日来るかもわからないのに3年であったら良い、5年であったら良くないといったものは根拠も何もございません。一般的に線を引いただけです。ですので、現地建替えという場合においても、早期に安全性を確保する必要があると判断する場合には、事業費は更に6億円を足すということになるかと思えます。
B 委員	最初の時は現地建替えということである程度話がまとまったというわけなのですが、今回見せてもらいますと、耐震補強、こんなものは恐らくは絶対に無理だと思いますけれど、一応比較で作られたと思うんですが、結局はこれを見ると、現地建替えしか仕方ないと作戦を持ってくるために作られたという懸念もあると思うんですね。実際に言ったら値段的に見ても現地建替え

	<p>が一番有利であると、確かにそれは金額を見てもね。</p> <p>ですが、現地建替えてなく移転建替えてもまだ検討余地があるのかどうか。無いのであれば、現地建替えてもっと絞ってやっていくという方法もあるけれども、例えば明姫幹線にしても、運動公園にしても、高砂駅前にしても、金額的に土地の買収が非常に高いということで難しい、それならば明姫幹線沿いの都市計画を考えていって、期間はかかりますけど、やっぱり将来的に見るとそういうことも一つの大きなメリットもあるわけですから、今の現地の建物に仮設をちょっとでも建てて、耐震補強はしないで古い建物は残しておくという形で何年かそれを使っていって明姫幹線に持っていくということが、一つの方法として実際考えられるのかどうか。それは無理ですということになるのであれば、どれだけやってみても仕方ないと思います。</p>
事務局	<p>事務局で外注して検討しているわけで、言葉は悪いですが、作為的なものは今回の検証に一切入っていません。本当に平等な目で見ると、一体いくらかかるのか、どのくらいの工期がかかるのか、という概念から考えています。費用面に関しましては、安全性を確保するための仮設庁舎分6億円を加算するしないというのがあります。</p> <p>それと、質問のもう一つ、移転建替えてはもう余地がないのかという話ですが、現時点で事務局案として、先程も言いましたように市としては10月に市民に対して、中学校区規模において市民説明会を開きます。それと市議会もございます。そういったところにコンセンサスを諮り、最終的に市として市長として方針を決めるということを先日も市長から確認しております。</p> <p>今の段階では現地建替えてに決めたわけではないです。当委員会また、これからします市民の意見を十分聞き入れて最終的に判断します。</p> <p>もちろん、財政面が一番であり、例えば300、400億円掛るのだという、新国立競技場ではないですが、中止になってしまう可能性があります。その辺りを全て勘案した中で、今後会議を持ち、市長が最終的に決めていくということですので、いま事務局は現地建替えしかないというようなことは全くございません。</p>
B委員	<p>わかりました。</p>
C委員	<p>私は、今回初めて来まして、話を元通りに戻すようなことはしたくはないのですが、9ページ(資料1)の新庁舎の規模として書かれてあるのですが、14,900㎡は何坪ぐらいになるのですか。例えば甲子園を例に挙げてもらうとか。</p>
事務局	<p>4,500坪です。</p>

C 委員	例えば14,900㎡、これは1階建の面積なのか、2階3階含めての面積なのか。
事務局	延床面積になります。
C 委員	10ページ(資料1)に書いてあります職員一人当たりの面積が高砂市は29.83㎡、職員数523人ということですね。これを出した数字だと思いますが、この庁舎の規模で言えばそんなに大きなものがあるんですか。素人な質問で申し訳ないんですが。
事務局	<p>大きさにつきましては、今事務局も説明しましたように、全国的には床面積を算定するにおいて地方債同意等基準運用要綱に基づき職員数から算出しております。それに高砂市独自の防災倉庫などを加えた面積として、ご説明しました通り15,600㎡という数字を出しておりますが、この大きさがあるのかというと、近年建ちました他の庁舎を書いています、例えば豊岡市では29.9㎡/人、太子町も今作っていますが、それに近い面積です。全国的においても、妥当な面積であろうかと思えます。</p> <p>現在の高砂市の庁舎が25㎡/人で、ご存じのとおり市民の皆さんが行かれると、ぎっしり詰め込んだ様で、市民窓口に関しましてもかなりお客さんにとっては狭い空間で、一番問題となっております相談するような空間も無い、プライバシーが守られない、ガヤガヤした中での相談ということになってしまっているのが現状です。ですので、事務局としては最近建ったものを見学等に行き調べましたが、もう少し大きくても良いという意見もありますが、今のご時世ですし、抑えなければいけないということで、最低限必要な面積はこれだけということで判断しております。決して広すぎて贅沢という面積ではないと判断しております。</p>
C 委員	<p>といたしますのも、特に財政面を先程から言われていますが、現地建替えあるいは移転建替えで、やはり一般市民から見ますと概算ですが何十億あるいは160億、57億というような金額が示されているわけですね。高砂市以外も財政的には非常に厳しいということで、庁舎自体はそんなに大きなものを作らなくても、お金を掛けなくても、市役所の本来の業務は、市民相手に必要な業務をするという。</p> <p>例えば、視覚障がい者が市役所を訪問しますね。視覚障がい者は大きい小さいがわかりません。だから、建物云々よりも、相談にのっている職員のいろんなことが一番大事な事であって、財政が厳しかったら、なにも大きな全国平均がこれですよ、あるいは最低限度これくらいありますよというよりも、</p>

事務局	<p>高砂市独自で考えて、例えば切り詰めるところがあったらもう少し規模が小さくても良い市役所ができるんじゃないかと私は思うんですが。</p> <p>その点につきましては、昨年度、この委員会でも開催させて頂きました市民アンケート結果も公表しております。その中に今 C 委員が仰いましたように、職員の質を上げることによって市民サービスに繋がるのでは、何も庁舎を建てなくても良いのではという意見もありました。また、逆に手狭になった市役所を何とかしてください、車椅子も通れないような廊下であるし、そういったことも整備してください、といったご意見もございました。障がい者に絞って言わせていただくと、バリアフリーも対応できてない市役所でございます。</p> <p>そういうものを市役所として置いておくことも問題があるということで、今回の計画にはそう広くない中で、当然高砂市で整備していくということを念頭において、昨年度の提言書の後半にも、この委員会の中でどういう庁舎を目指すかまとめたものの中に、箱ではなく、ソフト面について内容が記載されております。それは目標を変えずに作っていこうと考えております。</p>
C 委員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
D 委員	<p>私も文章で書かせてもらったのですが、重厚長大な庁舎はいらないであろうという中で今、高砂市の少子高齢化の中で、将来的な人口がどれぐらいになっているのかということと、それに妥当な職員数は幾らかということ、それと、高度経済成長が過ぎた中で、インフラ整備がどこまで進んだか、下水道整備とかそういったものも大分進んでいますので、ある意味職員の数などもある程度下降線を辿っていくのかなと。今、マキシマムの数字で見ればいいですけど、学校なんかそうですね、どんどん、空きスペースができて、それを地域コミュニティの場に転用するなど、いろんな形で転用してもういらぬものはそういうところになっていってますよね。そういった中で、庁舎の本当の姿、将来的なものって、言葉が悪いですが場当たりのものではないかなと。</p> <p>耐震基準が昭和 57 年ですか、示されて平成 10 年には大きな基準の改正があって、庁舎など不特定多数の人がいるところの建物の耐震化とか災害に対するスペースの確保とかいろいろなことが言われている中で、もっと前にいろんなことを考えておくこともできたわけですね。それをある意味怠ったのか、出来なかったのか別にしても、例えば今図書館が別の所に建ってますよね。窓口の一元化という中でいろんな施設を集約していくのも、5 年 10 年 20 年考えていくのと、100 年の計を考えたときにどういった政策をしていくのか、例えば姫路の駅前に 50 m 道路を作って、当時はいらぬのでは</p>

事務局	<p>ないかという声もありましたが、でも良かったねということもあるわけですね。ですから、ここで書かれていることというのは、この委員会も市役所の総意としてある程度決まったことが、諸条件のなかで業者さんにお出しして裏付けられたという格好でここに新しいものが何もない、新しいものがないというよりも、太子町さんでもいろいろ資料もいただきましたけども、そこには我々一般市民が寄って意見を言うのは、建築の専門的な事よりも、もっとソフト的なもの、庁舎建築に対するこうであってほしいというものが、或いは夢かもしれないですが、そういう風なことがガラス張りの中で討議されて、もっと市民がやはりこういうことになるのだったら庁舎を良いもの作ってもいいね、もう少し便利な場所に出て行ってもいいね、そのためには何が問題かということで。なんか今は課題に対して諸条件を出して、駄目なものを消して残ったものはなにかと。本当は何がしたいのか、どういうものであってほしいのかというものがあって、片方ではそれに対する課題があるのだということで、パラレルで物事が進んでいくのですが、いわゆる順番に要らないものをそぎ落としていったときにこれしかないというようなことで道筋がついてしまっているところが残念な気がします。もう少し本当はできるのではないかなというものがこの委員会である程度道筋をつけられたら良かったかなと思います。</p> <p>少しでも技術的なこと、予算的なことを考えれば、私が見てももうまさにこの通りですが、本当の趣旨というのですかね。</p> <p>法律があれば、その前に憲法があって、そこには大義名分というかこうしたいんだというものがまずあるのだけれども、技術的なところで問題が綺麗に整備されてしまっているところに、ちょっと残念な気がします。</p> <p>人口の話ですが、いま、高砂市では総合計画という10年間の計画をもとに、事業を進めております。平成23年から32年の10年間の総合計画でございます。そのなかでは人口の推計としましては、目標値ではございますけれども、32年について、人口9万5千人を維持していくというようなかたちでの絵を描いております。</p> <p>ただ一方、昨年から、地方創生とかいろいろなお話が出てきました。人口減少社会ということで、20才から39才までの女性が現状より50%以上減るところは消滅の可能性のある都市だというようなことが言われております。高砂市も地方創生の取り組みをさせて頂いておりますが、そのなかで人口ビジョンというものを策定する作業をしております。まだ固まったものはないのですけれども、やはり平成32年で人口9万5千人を維持することとはなかなか難しい絵だということがうたわれております。</p> <p>もう一つは、国立社会保障・人口問題研究所というのがございまして、そこが推定するような人口で行きますと、平成72年、2060年ごろには6万</p>
-----	--

<p>D 委員</p>	<p>人を切るのではないかという推計もされております。</p> <p>ただ、市としては何も手を拱いているのではなくて、何とか人口を維持していこうというようなことを戦略として作っていくという考え方を今しているところです。</p> <p>ですから、本当に人口を食い止めて、ましてや増えると言ったら市の魅力というもの一杯訴えていっているいろんな企画・アイデアで基本方針を立てていく。ただ10年のビジョンを立てているとあってそれをトレースしていったときに必ずそうなるかと言ったら、やはり別の所の市域では思い切ったコンパクトなまちというなかで住民サービスが行き届いてコンパクトな行政、コンパクトなインフラという中で、コンパクトシティがいいかどうかはまた別にしても、そういうところを念頭に置いたなかで、今これだけ必要だから、全国平均だからどうだという、何も平均だから大丈夫、赤信号みんなで渡れば怖くないというようなことではなく、そういう時に高砂市はこういう方針を打ち出して、こんな考えの中で今進んでいると、全国から高砂市に見学に来るようなもう少し先を見据えたアイデアというか方針というか、それと強い決意というんですかね、そういったものが必要なと思います。</p> <p>ただこう平均していけばこれだけの面積、職員数から行けばこれだけの面積ですとか、もっと市の必要な施設と新庁舎の施設と合体させるなど、魅力ある総合施設的なものも考えられます。事務局が仰いましたけども、法律は決まっていますが、法律の中で縛られているよりも、それを脱却した時にはこんなメリットがあると。じゃあ、そのハードルはどんなんだというところで突き詰めてやるというようなことも、時間ばかり浪費しても駄目ですが、その考え方もどこかにないと、きちっと型にはまってそういうものができていって、それで将来に人口が減って、空きスペースも出てきたというようなことになって欲しくはないわけですね。そういった中に高砂市としてのアイデアや方針を出していけたらいいかなと思っています。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。おっしゃる点は非常に考えていきたいところと思います。</p> <p>まず、事務的に平均でというのは、検証する手法としては、平均的なところ、また基準に基づいて考えていくということで、費用・期間のメリット・デメリットを考えました。よって、何も面白味もない結果に、いまのところなっております。この方針が決まってから、前年度にまとめていただいた提言書の第2章に入っていくものと我々は考えております。</p> <p>第2章で、これから求められる市役所とはどういうものですかということを皆さんにご意見をいただいたものがまとまった、その内容について、今度基本設計とか実施設計には勿論反映していきたいと考えております。</p>

	<p>それともう一点、人口減少に伴い公共施設のあり方につきましては今年度より「公共施設の総合管理計画」というものを2年間かけてまとめていく予定です。D委員がおっしゃるように、小学校においても学級数や子どもも減っていく中でどう施設を維持運営していくのか、公共施設はどうなるのかという問題もあります。公共施設につきましては、3割ぐらい減少しなくては高砂市として維持できないかという予測をする中で、その意に反する新しいものを作るという行為をしております。当然ながら、これからの公共施設の在り方をつくるなか、人口減少に立ち向かうための地域創生事業に立ち向かった中で、相反する新築事業というものを進めるのですから、事務局としましてはよっぽどそういったことを考えております。ただ、今回の説明としましては、非常に申し訳ないのですが、事務的に全然面白くないようなことしか言えておりません。市としてどうするか面白み、市民にとって魅力あるというのは一切訴えてはおりませんが、そういう背景でございますので、とにかく検証した結果を今回はお伝えしたい。</p> <p>それと耐震性につきましては平成17年に耐震を平成27年度までにどうするという計画を立てました。市民の皆様のおかげで、庁舎以外は法律的に耐震性能が足りていないものについては全部終わっております。あと残されたのが市役所だというのが4、5年前から問題となって、ようやく今ここにきて解決しようという最中です。</p> <p>D委員がおっしゃるように将来を見据えた人口とか社会情勢、それから最後に言われましたコンパクトシティ、これは国が30万人都市を目指しまして中心に公共施設を持ってきて小さなまちで経営を楽にしようという考え方で進めております。全国的にも立地適正化計画を作ってその中に公共施設または民間の公共的施設を寄せて来るという計画をつくるという立ち位置に来ております。ですが、この市域の狭い9万人しかいない高砂市においては、それよりも、今言いました公共施設の統廃合等の整理の仕方とまちづくりも兼ね合まして庁舎建設を進めていくことをまず考えて、その中に、GOが出ましたら、そういったものを全部盛り込んで進めていきたい。ただ、都市計画を一番に行きますとまた何十年庁舎の建設に時間がかかるという、危険安全回避という点が遅れていくので、懸念しているところです。</p>
B委員	<p>それに関連したことですが、直接市庁舎の建築に関係ないかもわかりませんが、人口の推移については、高砂市の人口も減ってきている。何が原因なのか調査したと聞きましたけど、実際に出生率が下がってくるということも減少のうちなのですが、高砂市から近隣のよその市へ移転してしまうということが統計上出ているわけです。ということは、高砂市よりよそにいった方が住みやすいとか色々あるのでしょうか、高砂市はJRが通っているわけで、これは直接都市計画にも絡んでくると思うんですが、JR曾根駅の問題</p>

	<p>にしても、20年経っても25年経っても何ら解決しない。姫路市でしたらこの近年新駅が3つ出来ました。駅が一つ出来るとそこに住宅が建ち、ひめじ別所駅が出来てもあの地域がずっと住宅ができて人口が増えていってるといふこともあります。しかし、高砂市の場合はJRが通っているのにメリットも出ていない。その曾根駅を何とかするという会があると聞きましたけど、今の状態ではどうにもならないから例えば駅を移転するというのも実際に都市計画上考えていってですね、それを市庁舎にも絡ませていって都市計画を長期になりますが、実際新しいJRの駅が出来るとその近辺の人口が増えていくようなところが統計上でも出ている。そういうことも含めて大きな都市計画を見ながら高砂市の全体の構想を考えることも頭に置いていたら、その地域の発展とか色々なことも関係してくるでしょうし、一つの大きな利点になってくるでしょう。</p> <p>最近私もJRの駅のことと他の人の相談を聞いたのですが、あの状態の曾根駅についてはどうにもならんという人がいますので、実際25年かかっても何ら改善できてないということですから、簡単に言ったら南池の鹿嶋神社から下がった辺りに持ってきて、その絡みが出てくればもっと大きな構想ができて発展の一つのきっかけになるのではないかと思います。これは直接今のとは関係ないとしても大きく絡んでくるような気もいたします。</p>
委員長	ご意見ということでよろしいでしょうか。
B 委員	はい。
A 委員	<p>現地建替えについて、この内容の中でこういう考え方もできるのではないかとというのが、西庁舎・南庁舎の大規模改修に7から8億の予算が挙がっていますけど、それらの耐震は現状で問題ないという状況なので、仮設の建物を作って、このレイアウトの中で空きスペースに将来の建物を建てて本庁舎、分庁舎を潰すということではなくて、この現庁舎敷地全体の中でいかに良いものを作るかということを考えて頂きたい。立体駐車場も含めた、全体の中のレイアウトを。それをするには一回更地にしてしまっただけで絵を描かないで、空いているところに建てて今の耐震補強が駄目なものを潰して、その辺に建てておいたらいいのではないかとというようなものの考え方ではいけないと思うのです。今の予算組の中では仮設の考え方はないですけど、仮設庁舎で一回逃げて、建物を潰して、現敷地全体でどういふものができるのか、予算的なものも含めてですけど、それと東南海地震を想定した津波の時の対応ができるような機能を持った建物にするということ、備蓄も含めて考えて頂ければと思います。この大規模改修を除いたら仮設庁舎リースをしても若干マイナスになりますよね。南庁舎・西庁舎を使わないということでの機能的な</p>

事務局	<p>建物にできないかなと思っています。南庁舎については、民間に売却してしまうとか、ドラスティックですけど、そういうようなことを数値上ある程度金額面でも差引きできるような考え方にならないと、全体の金額を抑えられないし、良いものは多分できないと思います。</p> <p>A 委員がおっしゃることはごもっともです。私どもといたしましても現地建替えの立案時に、いまおっしゃられたような安全性のためも含めまして、仮設庁舎を建てて完全に庁舎を潰して更地にするという検討もしています。今回は検証結果としてここにお示しするのは、仮設庁舎を作らないという案を載せております。</p> <p>もちろん、建物を潰して仮設庁舎を建てたほうが、試案ですが期間も短縮できるということで、その費用が掛るならばそれが妥当なのか、掛けるならば移転ということもあります。そういったことを検討する課題としていただきます。</p> <p>それと、南庁舎や西庁舎の売却ももちろん検証して、実際売れるだろうかとかというような検討もしております。</p> <p>ただ、先ほど申し上げた通り、今回は提言書についての検証ということでお示ししております。</p> <p>具体的に基本計画などにおいて今後事業を進められるならば、今後コンペイションやプロポーザルなどの方法をもって設計事務所を選び、進めていくわけなのですが、その中で提言を含めて出てくるかと考えますし、事務局の技術方につきましても今言われたようなご意見すべて検討していきたいと思っています。</p>
委員長	<p>ご発言になっていない委員の方はいかがですか。</p>
副委員長	<p>ずっと昨年から庁舎整備検討委員会で我々が検討しまして、その提言を基に今実証が出てきました。これはこれで私は良いと思います。もう一つこれを踏まえてスケジュール表が資料2で出ていますので、スケジュールを簡単に教えてほしい。見ればわかるのですが、一応その結果どういう方向にどういう風に進んでいくのか。</p> <p>いわゆる基本設計や市民説明会などありますが、この検討委員会で色々ご提言もされましたが、それは設計の中に反映されていくものなのか、それとも全く関係無く、委員会が提言しただけで済むのですか。</p>
事務局	<p>今、副委員長のほうから質問がありましたので、今後のスケジュールをご説明させていただきます。</p> <p>現在、7月末を以って、この委員会において出しました提言書を専門的に分</p>

	<p>析いたしました。それについて構想案を今後作成するということとなりますが、これで終わりではありません。先ほども説明しましたが、市民説明会が10、11月にございます。これに先駆けまして皆様のご意見をいただいて、例えば委員が言われた調整区域や南池の考え方とか、A委員が言われた陸上競技場周辺の都市計画の考え方、また、D委員が言われるような全体的な都市計画、また公共施設のあり方とかといった意見をこの委員会から出た意見として頂きます。それを踏まえて事務局で協議しながら、市民の意見を聞き、まとめたものをパブリックコメントで公開的に意見を徴集するというような流れになっております。</p> <p>この委員会はこれで終わりではなく、そういった意見が市民から出たら、この委員会にフィードバックするといったことで、12月ぐらいに最終的に市としてこう考えますと市長が表明することで進めたいと今事務局は考えており、パブリックコメントや市民説明会をする前に、委員の皆様はこの検証結果を報告し、ご意見を頂きたく今日集まっていただきました。そして最終市の方向性を決めて議会へ進言して、28年度につなげ、早期事業化を進めて行く考え方です。</p>
副委員長	それでも5年11か月もかかるんですね。時間的には。
事務局	<p>基本・実施設計を1年間でいき、仮設を建てて解体してもいいということであればもう少し短くなる可能性もあります。</p> <p>ただ見直しもありますし、順調にいかないような大きな計画と考えておりますので、長めに5年という期間としております。</p>
D委員	水害や高潮などの事例は出ていますが、昔、加古川の本流がこちらにあったので、地盤の液状化も考えられ、特殊な基礎が必要かも検証しないといけないと思います。
事務局	もちろん検証させていただきます。
E委員	<p>今、高砂市の総合戦略の審議会の委員をしていますが、若い方々に聞くと、この建替えに関して興味や関心がないというか、こういった説明会をしても人が寄らない、昨日も市民説明会がありましたが、余り市民の方々が来られません。</p> <p>神戸市や阪神地域の都市だったら、ある程度市民の方々は興味を持って来られるんですが、高砂市の自分たちの住む所の環境の事に関して、なぜ市民が興味を持たないことに関して、やっぱり強い発信力が必要かと思えます。市政だよりも載せたからそれで良いだろう、こういうのをしたから良いだろう</p>

<p>事務局</p>	<p>という風な形で進められがちなのではないかというような意見を聞いたりとか、こういったことをすると、また税金が上がったりとか若い人たちの世代にそういった感情があるのかなということで、これをしたことで、若者がより高砂市に住みたくなくなるのではないかということが一番心配な面でもあります。</p> <p>市役所が例えば駅前の商業系に出来たからすぐに街が発展するかと言えば、必ずしもイコールではなく高砂に価値があるということに対して人は寄ってくるのだと思います。そういった点についてもう少し若者が意見を言えるような場を考えていただいて、「ここでするから来てね」と言っても若者が寄ってくるかということやはり寄らないので、逆に言えば若者が寄る所に市役所が寄って行くというような考え方で、意見も聞かれて、どうあるべきかということを理解してもらおう。</p> <p>必要性はわかるので、建替えに関しては私も全然仕方がないと思いますが、やはり過去にこういう話が出ていたのに、そこから先に関してなんら対策を打っていないというのも問題ではという意見も聞きます。過去を振り返っても仕方がないのでこれからどうするかということで。</p> <p>やはり人口も減ってくるので、当然今まで働いていた方々の月収も低くなりますし、企業内で勤務される労働人口の構成も変わってきています。従業員の方のお給料が今まで通りずっと上がっていくとは限りませんし、当然そうなる税収も下がってきますので、そういう面も今後どういう風にお考えなのかもう少し明確にしてほしいと思います。提言書の中も当たり前のことを書いているだけで、高砂らしさを押し出した価値観をこの中に盛り込んで、「ここに住みたいな、ずっとこれから住みたいな」と思えるような魅力ある元気なまちづくりというのが高砂市の総合戦略への目論見だと思うので、そういうことをここで感じさせるように盛り込んでいただきたいと思います。本当に実現化する、夢ではなく実現化するようなものがここには何も書いておらず、抽象的なものばかりしかないなので、これだけ見たら「どうなるのかなこの街」という不安の方が先走ってしまうので、そういった面も含めて、この建替えに関して取り入れていただけたらと思います。</p> <p>あと、私は女性目線ということで、女性の方がもう少し理解してもらえりような提言書にしてほしいと思いました。</p> <p>実は E 委員には地方創生委員もしていただいて、昨日も文化保健センターで市民会議をさせていただきました。</p> <p>おっしゃるように、集客ということについては努力しております。自治会の方々にお願いしてチラシを配らせていただくなどもしているのですが、なかなか興味を持っていただきにくいという様なこともございます。そのような中で例えば中学生、高校生の方にアンケートを採ったり、あるいは転入転出</p>
------------	---

	<p>される方にアンケートを採ったりという作業もしております。受け身ではなくこちらから伺っていく様なことも大事だと思います。アリバイ作りで会議をしたということにならないよう積極的に意見を聞くことがこの庁舎整備についても必要だという風に十分考えております。</p> <p>それから、今回は頂いた提言書を検証するという作業ですので、「高砂らしさ」ということに関しましては余りプラスアルファが出来ておりません。申し上げましたが今後の作業の中でそういうことが盛り込まれるようにしたい。実際、昨日の市民会議で創生のことについても絵に描いた餅のようでは駄目ですよとのご指摘もいただいております。</p> <p>そういう中で、実現可能性のある多様な視点からの考え方が盛り込めるような作業をしていきたいと考えております。</p>
E 委員	<p>検証報告書で他市の人口数と新庁舎面積が書いてありますが、ここには建設費用が書かれておらず、条件が違うので判断しにくいと思います。金額的なものは、この金額が正しいのか正しくないのかが何を持って判断すれば良いのかと思います。</p> <p>想定人口数が多いのに職員数も結構少ないところもあるし、金額がこれぐらいなものか安く抑えている方なのか。</p>
事務局	<p>工事価格につきましては、10ページ(資料1)の事例のAからKのそれぞれの建設費用は役に立たないと考えております。というのも年度によれば建築コストが安くなったり、今でしたらオリンピック景気で上がったりしています。そういう中で今のオリンピックによる建設業界の景気の動向を含めて、工事費に関して調査し、1㎡当たりの単価を、ここには示していませんが算出しました。そういう中で、新国立競技場のようなことが無いように加減な積算にならないように、本当に現実に即した金額を今の段階では将来変動も含めての建設費用を挙げさせていただいております。</p> <p>職員数と建物規模につきましては、高砂市においては定員適正化計画に基づいた職員数ということ想定しながら進めている数字です。ただ言われたように人口が半分になったらどうなるかと言えば、もちろん職員数も減って来るとも考えられますが、今後、当然詳細な見直しというのは必要になろうかと思っておりますので、検討していきたいと思っております。</p>
C 委員	<p>先程、規模のことを伺いましたが、私自身も建築に関しては素人で、私は神戸出身で高砂に来まして、面積がそんなに広くないですし、人口も9万ちょっとですよ。こちらに来てびっくりしたのは、いわゆる公民館や市民サービスコーナーが8か所稼働していることです。</p> <p>それを見て非常にびっくりして良いことだなと思いました。例えば、お年寄</p>

事務局	<p>りの方が近くであればすぐ行けるということで、非常に便利なわけですね。私は余り大きな規模のものはいらなのではないか、人口問題もそうですし、きめ細かな市民サービスコーナーをもっと活用すればそんなにお金を掛けずに庁舎を作ることができるのではと思っています。</p> <p>今から言うことは少し市の関係の方にはきついかもかもしれませんが、私は今回この委員会に参加するあたり、全くわからないので、前の資料をもらって読みました。それを読みますと、先程現地建替えかあるいは移転建替えかまだ決まっていないと言われましたが、何かほぼ現地建替えに決まっているような進行具合なんですね。なぜかと言いますと、私は障がい者団体に所属していますが、第4次障がい者福祉計画の策定に今回携わりました。全く関係ないかもしれませんが、その福祉計画の方に参加しまして、その計画云々に関していろんな意見が委員から集まっていました。</p> <p>だけど、実際は市の方がどんどん進んでいるわけです。言ったことがどうなるのか。もうほとんど「はいわかりました。はいわかりました。」で、実際出来たものは、去年の物を少し変えて、まあ計画とこれとは違うかもわかりませんが、市の考え方あるいは進行具合が非常にその時感じたわけです。それで、こんなもので、例えば今日の議題でしたらいい庁舎ができるのか、なんか市の方に振り回されている感じがしました。</p> <p>本当に厳しい意見かもしれませんが、障がい者策定計画と庁舎とは違うと言えばそれまでですが、その時に感じたものと今日感じたものが同じような気持ちになりました。</p> <p>それにつきましては、B委員からもありましたように、とにかく去年の委員会では様々な意見をいただき、市民アンケートも行いました。当然必要な費用や敷地もいるということで素案が決まりました。当然委員の中には移転建替えの方が良いという意見もありましたが、安全性確保のために委員会として現地建替えという方向を示されました。</p> <p>そして更に今年度、業者に発注して同じことをしております。何故かという、提言書をもう一度確実に、確かに間違っていないか、作為的なものが入っていないかを検証するため、今回上半期において検証し、本日の委員会を開催したというわけです。</p> <p>当然意見は全て記録していますし、庁舎の検討委員会は市内部にもございます。市内部の委員会でも検討委員からこんな意見が出ていることを報告しておりますし、もちろん総合運動公園の検証も十分しました。県とも調整しながらどういう手続きが必要なのか、明姫幹線南に関しましても明姫幹線の委員会や市担当者とも実現可能にするにはどうするのか十分協議をしております。またJR曾根駅付近については担当部署に庁舎検討委員会でこういう意見が出ているということで検討もしております。庁舎においても様々な角</p>
-----	--

<p>委員長</p>	<p>度から検証しており、市の思う方向に持って行ってまとめたものではないということをご理解いただきたいと思います。</p> <p>委員長や各委員からご意見をいただき、我々も50億円以上のお金を掛けて、後の世代に借金を残すような形になっても、納得できるようなものを作るために市民説明会でもご意見を聞いていこうと考えております。</p> <p>出来レースで作るものではないということで事務局は進めておりますので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>きょう、ご欠席の委員からもご意見が実は届いておりまして、F委員から10ページ（資料1）の職員一人あたりの面積の検証で、表の中で愛知県刈谷市が42.73㎡と、全体を見てこれが余りに高いので平均を上げているのではないかというご意見です。もう一回検証し、特異なものであればそれを除いて平均を出して、筋道が通るよう表現をした方が公正に見えますとご提案されております。</p> <p>それから、G委員から環境性能が高い次世代型庁舎であることやそういうことを市民の立場から求めたいというご意見が出ています。かなり今後の建物について細かいご提案がされており、工期が短く費用も少ない現地建替えが合理的だと思いますと書いていただいております。</p> <p>また、移転の場合は陸上競技場がある場所は宝殿駅からも近いというようなことも書かれております。</p> <p>ご欠席されておりますがしっかりと意見を述べられているということをご皆さんにお知らせしたいと思います。</p> <p>ご意見について、だいたい出尽くしたということによろしいでしょうか。</p> <p>きょうは結論を出すということではなく、きちんと検証結果をご説明いただいて、それを報告して、皆さんのご意見を伺うことになっておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>（異論なし）</p> <p>その次に次第(2)の「その他」について移りたいと思いますが、先程も話題になりましたが今後のスケジュールについて、事務局からご説明を頂きたいと思ひます。</p> <p>（2） その他</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほど副委員長からのご質問で今後のスケジュールについてご説明しましたので、省略させていただきます。</p>

委員長	地域での説明会というのは中学校単位ごとで行うということですか。かなり具体的に決めておられるのですか。
事務局	中学校単位で予定しております。
委員長	今後のスケジュールは、これからの時間を考えればタイトで仕方がないかと思いますが、事務局が言われた技術的な事はこうすることで、その中に高砂のアイデンティティを盛り込んでいくという中では合意形成とか。合意形成を求めるというのではなくて広く一般に、どういう状態で意見を求めるのかがポイントで、こういう諸条件を出して「これでいいですか」というようなことはあまり意味がなくて、それこそソフトのところに入って行くので、この時間の中で、いろんな意見を聞きながら、ワークショップまでするかどうかは別にしても、準備期間として市民説明でどういう説明を11月にしていくのかという、何ができるのかというのが少し気にかかりますが。
事務局	具体的に申しますと、移転かこの場所での建替えかということに対してを主に意見を聞きます。これからの庁舎に求めるものということは議論できない可能性もございます。
委員長	まずは、いずれにしても、市民の皆さんが「100億かかっても新しいまちをつくる」という意見が非常に出る可能性もあります。
D 委員	移転かこの場所かだけを求めても、判断基準が難しいと思います。やはりこういうことになるのだったら少しくらいは我慢するよ、我慢するというのは、負担が多くてもやっぱりやったら良いよねとか、例えばお金は掛るけれども高砂の抱えている問題と一緒に、今は南北間の交通が便利とは言い難いなかで、中心的にそういった施設が来ることによって解消されるとかですね。 ただ庁舎だけではなく、いろんなことを一旦テーブルに上げて、その議論はやっても良いよね、これはいらぬよねという様なところがないとただ耐震化や予算の問題でどちらにしますかと言われてたら、答えは出てしまっていますよね。
事務局	ご意見ありがとうございます。
委員長	その他何かございますか。
A 委員	今後のスケジュールの中で、市長への報告、議会の報告ですが、市長への報

	<p>告が9月にあって、12月に議会へ報告するということになるんですね。そのあと3月に予算審議というある程度スケジュールはこれでいいと思いますが、ただ議会の対応がどうなるか。というのが、よく言われているようにごみ処理場の問題もそうですが、2市2町でされていることだからあれだけでも、市側から議会に対して説明があったときに、こんなの初めて聞いたと。内容的にこれでは賛成の議員数を確保できないというような状況になれば時間がどんどん過ぎていくことも考えられますよね。だから、その辺りの説明というの、私はよく知らないのですが、議会のベテラン議員にこういう話があることを話すと、現地建替えについて違和感を持っている方もおられる。そういう中で本当に議会がスムーズに行くのかなという不安があるのですが、いかがですか。</p>
事務局	<p>この庁舎整備の策定につきましては、昨年から委員会を立ち上げており、その内容につきましては随時議会の方にも報告をさせていただいております。今後のスケジュールについても、昨年度予算審議の時にも説明をし、委員会の考え方についてもある程度説明させていただいております。今後は9月定例会のなかで、この検証結果を報告し、そこで意見をいただいて、市の方で方針を決めることとなります。そういう形でスケジュールを組んでいるところです。</p> <p>昨年の提言書は議会の方にも全て提出しておりますし、今回についても、委託のなかで、前半提言書を検証させていただきますという、昨年度の予算審議で説明いたしております。</p>
委員長	<p>その他、ございますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは次の日程調整ということになりますが、スケジュールの中には特に書かれてありませんが、いつ頃を想定されているのでしょうか。或いはもう今日で終わりなののでしょうか。</p>
事務局	<p>この検証結果を市民の方からご意見をいただき、市の方針が最終出た段階で、委員会に報告させていただこうと思っておりますので、このスケジュールでいくと12月頃ということになります。</p> <p>我々も方針を決定して、次の予算化するスケジュールもありますので、12月がリミットと考えております。</p>
委員長	<p>ということですので、皆様ご協力お願いいたします。</p>

事務局	<p>きょうの委員会を経て、市民説明ですとか或いは議会の説明とかということ で、新たな段階に話が進んでいくということになるかと思います。多分ここ での議事内容は難しいです。夢を語ろうと思っても一杯データが出ていて、 何か言おうと思っても非常に言えない難しさがあったのではと、確かにそう いう風に思います。</p> <p>その分かなり市の方も慎重になられていることと思いますし、きょうご意見 伺っていてもかなり建設的なご提案もありましたので、やはりそういうもの がきちんと反映されるような形でまとめられたらと思います。</p> <p>それでは議事を終わります、事務局にお返しいたします。よろしくお願 いいたします。</p> <p>それでは閉会いたします。長時間ありがとうございました。</p> <p>閉 会【午後 8 時 4 5 分終了】</p>
-----	--